慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	墺塞関係；高等商業学校の紛紜；富豪専制か貧民専制か；貴族院と都制案；タフト氏と黒人問題；又新会と新政党；黙點阿弥劇の運命；空中時代来らんとす
Sub Title	
Author	高橋, 誠一郎
Publisher	三田学会
Publication year	1909
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.1, No.3 (1909. 4) ,p.377(105)- 386(114)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	時評
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19090401-0105

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

は豫定の年に其繼續貴額の全部を支出する義務を有つて居る、地方の人民はワイ〳〵言ふて攻めて來る、何とかして金を拵へて鐵道を拵へなければならぬ、それには公債を募集しやうと云つても目的は達しられないから、郵便貯金擴張と云ふ美名を借りて、其の美名の下に公債を募集しやうと云ふのです、是れは動機は宜しくないが兎に角一つの美事です、政府の貯金制の擴張と云ふことは社會政策上賀すべきことであるから、私は意思の如何に拘らず其の結果に依て贊成する積りでありますが、先づ日本の貯金制度はさう云ふ譯であります。

（拍手）

時評

○墺塞關係

高橋誠一郎

墺塞兩國の關係は今如何の狀態に在りや、將た又今後如何の發展を爲す可きや、外電の所報區々にして人をして其眞相を捕ふるに困難ならしむ。或は塞比亞は何等の條件を附せずして總ての問題の解決を列國の裁斷に委し領土上政治上若しくは經濟上一切の報償を要求する所なしとの回答をなしたるを報じ、或は墺國は塞比亞の通牒中に同國が果して平和的の體度を執るの意ありや否やに就き何等の回答なきを見、同通牒に對して非常なる不滿足を感じ、更に明確なる宣言を同國に向つて請求せんとすと報じ、或は塞比亞は一方に於て讓歩しつゝあると共に他方には毫も戰鬪準備を怠らず、而して露國は墺國及び獨逸との國境なる各州知事に令して動員令の布告あらば直ちに軍事書類並に公金を內地に送り得可き準備を爲す可きを命ぜりと傳へたり。讓歩か開戰か、此後の發展漫りに豫測し難きも、然も多少の停滯遲延は避く可らざるものあるにせよ兩國の關係は圓滿なる解結に向つて歩一歩近きつゝあるものと見て可ならんか。

塞比亞は實に其建國の當時より親露親墺の岐路に迷へるものなりしなり。一千八百六十八年ミハエル暗殺せられて子なく、ミロシの曾甥ミラン公十四歳にて册立せらるゝや、塞比亞の國政は專ら攝政會議に由つて行はれたりき、而して當時自由黨の首領たりしリスチッヒ其實權を掌握し一千八百六十九年初めて憲章を發布し、歐洲の先進國に倣つて政府を改造せんとせり。斯くて同國は初めて政治的生活の曙光を認め得たりしなり。政黨は漸て保守進歩自由急進の名を附して現れたり。這個分岐對立の理由は首として各派領袖間の個人的感情に發したるものなりと雖も、然も一方より見れば同國の政界は明に二個の全然相反せる思想に

由つて支配せられつゝありしなり。農民にして正教徒なる塞比亞人の大多數は可成的官僚と租稅との二個の抑壓より免れんとせり。內政に關する彼等の最も緊切なる希望は地方的自治、經濟上の安固幷に新課稅の拒否に外ならず。而して外交に關しては宗教上の同情は等しく正政を奉ずる露國との同盟を要求し、正教を信奉する塞比亞人を自國に結合せしめんとを期せり。殊に急進黨の如きは巧に此思潮に棹して、常に口を極めて西歐文明を非難し、其侃諤の論は頗る民意に投合して、政府の壓迫の及ばざる家長會議には絕へず最多數を制するを得たり。然るに政府の方針は之と正反對にして只管西歐諸國の文物を塞比亞國內に輸入せんことに焦慮し、先づ鐵道を敷設して文明世界の經濟界と連結し、塊太利との貿易を發達せしめて自國農產物の販路を求めんことを期せり。這般の目的に應ぜんが爲めに政府は租稅及び公債に由つて其財源を得んとし、又西歐諸國特に塊國に向つて交涉を開始するの必要に迫られたり。此に於て乎、內政に關しては家長會議を無視して中央政府の權力を增大し、官吏の權限を擴張して地方團體を制服し、而して常備軍の增加と租稅の增徵とを斷行せり。對外政策に至つては元より純乎たる親塊主義にして、切に同國に對して媚を賣り、之が同盟を得るに汲々たりしなり。彼等は決して其數に於て大ならざりしも、然も國內の最も消長なき堅實なる權力を悉く包羅し盡したるものゝ如くなりしなり。

然れども一度ヘルツェゴヴィナに耶蘇教徒の叛亂起るの報傳るや炎々たる國民的情熱は家長會議に燃へて、君公ミランは親露排土の國民的政綱を揭げて立つ新內閣を組織せしめざるを得ざりき。伯林會議は大なる不滿を塞比亞人に與へたり。即ち同條約第二十五條はヘルツェゴヴィナ及びボスニアを塊太利匈牙利國をして占領し支配せしむることを規定すればなり。昨年十月塊匈國が公然二州の合併を宣言するや、大塞比亞（グレーター）の夢想家が失望落膽は蓋し想像の及ばざる程大にして、彼等が鬱

勃たる國民的精神は凝つて戰鬪準備となれるものなり。而して假令這回列國の壓迫に遭ふて泣く泣く一切の解決を其裁斷に委するの已むなきに至れるも、而も尙は多大の未練を殘して戰備を解くこと能はざるは正に當然のことたるなり。

國民的精神は一二の蹉跌の爲めに消滅し終るものにあらず。吾人は此シュウマジアの豚飼とハイヅクスと稱したる慓悍なる强盜群の子孫が此後の機運に際して如何に其國民的精神の發展を企つるかを見んと欲するものなり。

○高等商業學校の紛紜

校長敎師は現在の麵麭の爲めに校務を總べ敎鞭を執るものなり。學生は將來の麵麭の爲めに日々出校してノートを取るものなり。校長敎師と學生との間に不和を釀し紛紜を生ずるや、後者は相同盟して前者の排斥を行ひ以て其現在の麵麭を奪はんとし、前者は後者を退學處分して以て將來麵麭を得るの途を沮害せんとす。而して現在の欲望は其緊切の度に於て將來の欲望に勝る。學校騷動が常に學生側の勝利に歸し學校當局者の讓步に終るは之が爲めなり。

官立學校に師弟間の紛爭絕へざるは尙は舊幕の大名にお家騷動の絕へざるが如し。近來亦實業敎育最高の府たる東京高等商業學校に於て例に依つて例の如くなる學校騷動を生ぜり。固より多少の罪は校長側にもあらん、學生側も亦其幾分を負はざる可らざるなるべし。然れども其由來する大原因は我國の文部省が彼等に十分なる自治を許さずして、敎育事業の神聖なるを知らず、官海の俗務に俗吏を按排すると同一の筆法を以て校長の選任を行ひ、只管官等年功のみを參酌して毫も敎授學生間に輿望有り而して其德風の仰ぐ可きものを推すの傾きなく、徒らに官海の游泳にのみ巧にして俗臭紛々苟も敎育家の風上に立たしむ可らざるものをして無造作に校長の椅子に着しむるの弊習に起因するものなり。

此回の騷動に於て敵役となれる校長某は固と學

者と官吏との中間に浮漂せる者にして其校長として高等商業學校に臨むや一定の敎育方針あつて熟心に學生を師導せんとするの誠意あるにあらずして校長の地位に座するは更に高き地位に昇りて一層多量なる麵麭を貪り喰はんとするの一時的踏臺に外ならず。而して校長が誠心誠意を缺けるを歎じ鼓を鳴して其罪を責めんとしたる學生側の主謀者某々は孰れも專攻科の學生なり。彼等は既に卒業證書を贖ひ得て現在の麵麭を得るに窮せざるものなり。百の退學處分素より怖るゝ所にあらず、瑣小なる困難を忍べば彼等は一篇の小說中の華かなる主人公たり得るなり。靑春の小さきプライドは玆に大なる滿足を感じ得可きなり。然るに校長某は這回の紛爭に際し自己の聲望を失墜せしむるは其現在の麵麭を失ふと共に亦將來贏ち得可き麵麭の量に大なる影響を來すの因となるなり。學生の意氣當に天を衝かんとするに反し校長獨り苦悶を重ねたるが如き狀見ゆるは正に之が爲めなり。

然るに斯くの如く勢猛烈を極めたる學生側が一度澁澤男の調停に遭ふや、一切萬事を男に委して、恰も跫音に消ゆる蟲の音の如く、俄然其聲をひそめたるは如何。前述の如く彼等は既に卒業證書を握れり、學校當局者の彼等に向つて怒ると笑ふとは元より其痛痒を感ずる所にあらず。然れども彼等は尙は其將來に於て數多實業界の先輩が袖にすがらざる可らず。澁澤男は卽ち彼等が三拜九拜して其前途の幸運を祈願す可き一大偶像たるなり。男の一怒は數多の學生が近き將來に迫れる麵麭の供給を絕つの因となるなり。東京電鐵の整理に手を燒ける澁澤男が反つて其間違いの學校騷動に鎭撫の功を奏し得たる所以なり。

○富豪專制か貧民專制か

壓制は人類の本性なり。互に自己の利益を以て他の利益を壓せんとす。二個の相對立する社會階級の一が他を强壓して自己の所思を施行し得るもの卽ち專制なり。帝王の專制か、庶民の專制か、貴族の專制か、平民の專制か、世界の歷史は實に彼等が互に火と水の如く相戰へる記敘たるなり。將來に於て益々激甚を極む可きものは富豪階級と貧民階級との爭鬪なり。富豪專制か、貧民專制か、歷史は更に多事ならんとす。

桂侯內閣の政策が富豪に媚ぶるの風あるは爭なき所にして、政府が稱して產業保護となす所のものは企業全般の保護にあらず一部小數の企業家保護なり。企業其物は反つて一定の主義方針を缺ける不節制なる保護政策の爲めに反つて其健全なる發達を妨げられつゝあるなり。寵商愈よ富んで事業愈よ不振を見るに至る可きなり。

衆議院に於て外國米輸入稅增率案を提出せるものあり。是亦一部富有なる農民に媚ぶるの趣旨に基くものなり。輸入米に對する增稅と共に一般穀價の騰貴となり、商工階級の蒙る損害多大なるは勿論、多數中產以下の農民も亦非常なる窮境に陷らざるを得ざるなり。

擧世滔々として富豪專制に阿附するの時に當り、之と戰ふの方法は卽ち貧民の抵抗あるのみ。

彼等は兵力を有せず金力を有せず、唯其有するものは多數の力のみなり。然れども結合したる數の力は優に富豪階級をして震慄せしむるの勢あるなり。

貧民專制の利果して富豪專制の利に勝るや否やは頗る疑問なり。而して吾國の貧民階級が政治上社會上に充分なる勢力を獲し得るは尙ほ長き敎育普及の後ならざる可らず。然も富豪階級の壓迫は刻一刻痛切なる苦悶を彼等に與へて次第に其反撥力を增加せしめつゝあるなり。

○貴族院と都制案

貴族院が都制案の通過に腐心しつゝある間に、奸媚なる衆議院の多數黨は之と交換に議員任期延長並に歲費增加の議を提出せんとすと傳ふ。傳聞果して眞なるや、貴族院果して這個民意代表の精神に違背し、天下の醜惡を極めたる提案と交換してまでも都制案の通過を計るの熱心ありや、頗る疑はしき次第なれども、同院が都制案の如き愚案

を意外に重視しつゝあるが爲め、他をして乘ず可きの間隙を生じたるは事實なる可し。

米國憲法起草の頃なりき。ウオシントンは一夕ジエフアソンと食卓を圍みつゝありき。ウオシントンは二院制度を主張し、ジエフアソンは一院説を抱持せり。論議は兩者の間に酣なり。ジエフアソンは談半にして其肉汁に醬汁を注げり。ウオシントン問ふ、何の爲めぞ、ジエフアソン答へて曰く、肉汁餘りに熱きが故なり。ウオシントン卓を打つて叫んで曰く、吾人が上院設置の必要を說くは、宛も熱したる肉汁に冷たき醬汁を注ぐの要あるに等しと。

貴族院存置の要は實に衆議院の輕擧を抑制して國家百年の利害を冷靜に愼重に決定せしむるに在り。然るに彼等にして自れが本分を忘却し徒らに天下の懸案たる都制案の通過に熱中し、萬々一之と交換に議員任期延長に關する改正法律案に贊同するが如きことあらんか、吾人はグラッドストーンと共にエメンド、オア、エンドを叫ばざるを得

○タフト氏と黑人問題

二月二十三日夜、タフト氏は紐育に於て一場の演說をなし、南部諸州の人士は黑人に對して非常なる虐待排斥を試むるも、米國にして既に一千萬の黑人を有する以上は、吾人は之を敎育し、之を文明に導くの任務ありと說けりと聞く。

人種問題は米國最大の病患なり。而して此問題の如何に重大なるかを了解せんとするものは勢同國各州間に於ける黑人種分布の狀を明にせざる可らず。而して先づ第一に人の注意を惹くものは南部大西洋岸地方に住する黑人の總數は三百七十二萬九千人にして全人口の三割五分を占め、南部中央諸州は總數四百十九萬三千人、全人口の二割九分を占めつゝあるの事實なり。卽ち北米合衆國內の黑人總數の十分の九は其生活の本據を南部諸州に有するものにして、他の諸州には僅に九十萬を超へざる黑人が各所に散在し、人口の二分弱を占

むるに過ぎず。黑人分布の狀は正に南部大西洋及び墨耳古灣に沿へる六州黑人員數の及きものより順次に擧ぐれば、ミスシッピー、南部カロリナ、ルイジアナ、ジオルジア、アラバマ及びフロリダ是なり。)より發して漸次稀薄となるものなり。前記六州は卽ち黑人分布の中心にして全住民の過半數(八百八十五萬二千人中四百四十三萬三千人)は黑人より成るなり。

黑人問題の解決困難なるは一千萬の黑人を有するが爲めに非ずして、寧ろ其極南部に於ける密集に在り。タフト氏は彼等を敎化して文明の域に導くは米國人の當に努む可き所なりと謂へり。言や素より善し、蓋し人種問題の解決は敎育を措きて他に之を求め得ざればなり。然れども黑人が僅々數年にして、否數世代以內に、白人が幾多の世紀を閱して漸く到達し得たる今日の文明の域に進まんことは到底之を望む可らず。而して若し米國民が彼等黑人を敎化し盡し得たりとせんか、そは寧ろ白人の劣等なるを示すものにあらずや。之を要するに本問題に對する目前の解決法あることなし、米國は尙ほ長く之より生ずる困難と鬪はざる可らず。此問題の存在は實に此國內最富饒の地方に對する移住を沮害し、以て國力の發展を妨礙すること多大なり。之卽ち同國が曾て有したる奴隸制度より受くる長き刑罰なり。

○又新會と新政黨

進步黨の一部を中心として起れる新政黨組織說は何時とはなしに消へて、人をして新政黨成立の不可能を嘆ぜしむる折柄、新なる新政黨熱は復も又新會內に燃へて多少落寞たる政界を賑しつゝあり。憲政本黨の常議員會に於て除名處分を受けたる犬養毅氏が直ちに又新會の坂本金彌氏を訪ふて同會に加入せんとを談じ、坂本氏亦二三の條件を附して之を諾したる事實は早く之を世間に傳ふるものありしが、今又同黨改革派の領袖が島田三郎氏を訪ふて自派の窮狀を說き懇請するに新政黨組織のことを以てせるを傳ふるものあり。それかあ

らぬか三月十二日又新會は相談會を開きて新政黨組織の事を議したり。續いて其の主義綱領の骨子として略々決定したる所のものなりとて報ぜらるゝものを見るに、官僚政治の打破、責任內閣の組織、各派抱容の計畫、三稅の廢止、稅制の根本的改革並に軍備縮少、生產の奬勵等を揭げたり、而して消息通は更に此回の新政黨には進步黨改革非改革の二派の全部を初めとして戍申倶樂部其他にも加入者多數なる見込なりと謂へり。

果して然らば此回の新政黨組織は一定の主義抱負を有する政客の團結と謂はんよりも、非政友を目的とし多數黨の橫暴に憤慨せる雜然たる少數黨の連合と見るを妥當とす。斯くの如く混沌たる集團が果して克く永續し得るや、將又彼等が自ら標榜するが如き主義方針を貫徹せしめ得るや否やは大なる疑問なるも、然も少數黨の分立、小紛爭の續出に倦きたる政界の需要は軈て此混沌たる集團に純乎たる眞政黨の面目を具備せしむるに至るの日なきを保ぜず。吾人は政界革進の墓なき希望を此一縷の新政黨組織說に掛けて、其此後の發展を切に祈るものなり。

默點阿彌劇の運命

河竹默阿彌が七十八歲の高齡を以て亡したるは實に明治二十六年にして、爾來十六年の日月を閱し、劇壇の一方には常に新脚本を要求するの聲絕へざるに、未だ彼の運命は終焉を告げずして、都下の大小劇場は依然として彼の遺作を演じ、愛劇の士女は尙ほこれに向つて唱采を吝ざるなり。今春「柳巷春着薊色縫」が歌舞伎座に、「三人吉三巴白浪」が明治座に演ぜられて新作の「破戒曾我」「宗行卿」よりも反つて評判好く、今又「梅柳櫻幸染」が風來山人の古淨瑠璃と共に開演せられて、所謂劇評家側の批評は兎に角、連日の大入を占めつゝあるが如きは頗る奇なる現象と謂はざる可らず。

由來我國の好劇家は劇其物を見ずして單に俳優のみを見來りしなり。阿國山三の女歌舞伎、猿若勘三郎村山八郎兵衞の若衆歌舞伎の古より、團菊

全盛の近代に至るまで人は唯だ當場俳優の伎藝と美貌とに憧憬して、脚本の如きは全然其文學的價値如何を問ふことなく、偏に座附俳優の相貌藝風に適ひ餘薀なく其長所を發揮し得るものを維れ喜ぶの風ありき。脚本に由つて俳優を選定せずして、俳優に由つて脚本を選定したりしなり。而して更に甚しきものに至りては扮裝せる俳優にあらずして生地のまゝなる俳優を當場せしめて非常なる喝采を博し得たりしなり。鶴屋南北の「四天王產湯玉川」、並木正三の「宿無團七時雨傘」の如き卽ち是なり。南北は實に德川時代の劇壇が有したる狂言作者中隨一の巨匠なり。然も彼は其傑作の一なる「お染久松色讀販」に於て一人の岩井半四郎をしてお染久松以下の七役に假扮せしめ得て自ら得々たしにあらずや。

默阿彌は所謂「狂言作者」の殿將なり。先づ俳優を見て而して後に筋を立て脚色を施すの術は彼に至つて其極致に達せり。九代目市川團十郎は或は脚本以外に超然たる名優たりしとするも、少なくとも小團治菊五郎の徒に至りては默阿彌なくんば恐くは其價値の半をも發揮し得ずして終りしなる可し。況んや四代目市川左團次の如きに在りては其存在の殆ど全部を默阿彌の筆に負へるものなり。

默阿彌は逝けり。然れども默阿彌劇は猶ほ久しく團菊左の伎藝に依つて舞臺に其生命を有したりき。彼等も軈て明治三十六年幷に八年を以て孰れも黃泉の客となれり。梨園の蕭殺此に至つて極まれり。未だ彼等の施したる催眠狀態より醒むる能はざる滿都の士女は只管彼等の遺せる面影を舞臺の上に忍ばんとして憧憬れつゝあるなり。故名優の面影は彼等の遺せる型を巧妙に演出するものに依りて多少之を寫し出すことを得可し。最も能く先人の藝風を眞似得る者(其短所までも)卽ち現今最も好評なる俳優たるなり。人は時代遲れの稻瀨川の道行や八丁畷三昧の場に失笑しつゝも尙ほ此陳腐なる默阿彌劇の裡に故人の俤を追想せんとして木挽町に集るなり。

然れども驚て人は故名優に依つて行はれたる催眠術より覺醒するの機ある可し。此時こそ卽ち日本の劇界が幾多の眞似專門の俳優を失ふの日にして、同時に又舊套の默阿彌劇が其運命盡きて長く劇界より葬り去らるゝの秋たる可きなり。

○空中時代來らんとす

文明は空想を實現せずんば止まざらんとす。近年世界各地に於て頻々として傳へらるゝ空中飛行器の成功は列强をして將に來らんとする空中時代に向つて備ふるに多事ならしめんとす。最近の外電は獨逸に於てはツェペリン伯の新飛行器遠からず完成せんとし、フリドリッヒスハーフェンの新飛行器倉庫は九月頃落成す可く、而して又英國陸軍省がライト式空中飛行器を購入するに決せるの事實を傳ふ。セータンとミケール、ガブリエルが空中の大決戰も曾に詩人ミルトンが空想の產物に終らずして、愈ては實際界の事實として現るゝの期なしとせず。

一國內に流通する金銀貨は寧も國內の穀や穀類を市場に運ぶ大道の如きものにして、自ら一株の草一粒の穀をも生產するものにあらず。然るに巧妙なる銀行の作用は、(吾人をして極端なる直喩を用ゐしめば)茲に一種の空中車道を設けしめて其の大道の大部分を好箇の牧場壟圖たらしめ、斯くて著しく一國土地勞力の年產額を增大せしむるを得せしめたり、云々とは實に一千七百七十六年の書に於てアダム スミスが「國富論」中に於て述べたる所にして、紙幣の效用を敍へたる一節なり。紙幣は固より硬貨制度に基礎を有す可きものにして、如何に信用制度發達したればとて、全然此「不生產的資本」たる金銀貨を除き去ることを能はざるのみか、近代に至りて新マーカンチリズムの潮流は世界列强をして多々益々硬貨の吸收に急ならしめんとするの時に際し、彼が單に架空的の一比喩として用ゐたる「空中旅行の方法」が反つて其實行に對する蓋然の度を增せるは洵に面白き現象と謂ふ可きなり。

雜錄

英文學の趣味養成に必要なる小文庫

田中萃一郎

英文學の新刊書に注目する人は愛蘭黨の代議士オ！コーンナーの主筆として發行する一片雜誌チーピー週報を愛讀するか新着の同誌に文藝評論家ア！ノルドペンネットが現代作家を除き英文學の傑作を選擇して文藝趣味養成上是非共一讀す可き書物の目錄を揭げ代價をも添えてある。但し文學史上の發展を示すが爲に必要な著述は敎授若くは敎授たらんとする學生のみの讀む可きものでありとて、飜譯物(勿論一二の例外はある)と共に之を除き時代を(a)第十七世紀まで(b)第十八世紀(c)第九十世紀と分けてある。惟り文學に身を委ねんとするものならずともこの目錄を參照したなら大に便益を感ずることゝ思はるゝから左に轉載せん。

(a)第一期

ら 散文作家

	£	s.	d.
Bede. Ecclesiastical History. Temple Classics	0	2	0
Sir Thomas Malory. Morte d'Arthur. Everyman's Library (2 vols.).....	0	2	0
Sir Thomas More. Utopia. Scott Library	0	1	0
George Cavendish. Life of Cardinal Wolsey. New Universal Library.....	0	1	0
Richard Hakluyt. Voyages. Everyman's Library (4 vols.).....	0	4	0
Richard Hooker. Ecclesiastical Polity. Everyman's Library (2 vols.)	0	2	0
FRANCIS BACON. WORKS. Newnes's Thin-paper Classics	0	3	6
Thomas Dekker. Gull's Horn-Book. King's Classics	0	1	6
Lord Herbert of Cherbury. Autobiography. Scott Library	0	1	0
John Selden. Table-Talk. New Uni-			